

母趾先端

免荷難易度 ●



貼付領域 遠位端：足趾先端まですべて貼付する 近位端：踵は貼付しない
免荷領域 潰瘍部位+5mmの領域を含めて母趾部をすべてくり抜く

ポイント ・踵に貼付しないことで前足部足底の免荷効果が得られやすい。

足の特徴 ・母趾MTP関節の伸展可動域制限

第2～5趾 (写真は第3趾先端例)

免荷難易度 ●



貼付領域 遠位端：足趾先端まですべて貼付する 近位端：踵は貼付しない
免荷領域 潰瘍部位+5mmの領域を含めて当該足趾部をすべてくり抜く

ポイント ・踵に貼付しないことで前足部足底の免荷効果が得られやすい。
 ・複数趾潰瘍 (3列以上) に対しては免荷効果が得られにくいいため注意を要する。

足の特徴 ・マレットトゥ変形 ・ハンマー／クロウトゥ変形

第1 中足骨骨頭部

免荷難易度 ●



貼付領域 遠位端：足趾先端まですべて貼付する 近位端：踵は貼付しない
免荷領域 潰瘍部位+5mmの領域をくり抜く

ポイント

- ・踵に貼付しないことで前足部足底の免荷効果が得られやすい。
- ・免荷効果を高めるために足趾先端まですべて貼付する。

足の特徴

- ・凹足 ・足関節背屈可動域制限 ・**重度の扁平足**

第2～4中足骨骨頭部 (写真は第2中足骨骨頭部例)

免荷難易度 ●



貼付領域 遠位端：趾溝のラインまでとし足趾には貼付しない 近位端：踵は貼付しない
免荷領域 潰瘍部位+5mmの領域をくり抜く

ポイント

- ・踵に貼付しないことで前足部足底の免荷効果が得られやすい。
- ・3列以上にまたがる**大きな潰瘍**に対しては免荷効果が得られにくいいため対象外とする。

足の特徴

- ・クロウトゥ変形 ・趾関節脱臼 ・足関節背屈可動域制限 ・扁平足 ・外反母趾

第5中足骨骨頭部

免荷難易度 ●●



貼付領域
免荷領域

遠位端：足趾先端まですべて貼付する
近位端：踵は貼付しない
潰瘍部位+5mmの領域をくり抜く

ポイント

- ・踵に貼付しないことで前足部足底の免荷効果が得られやすい。
- ・免荷効果を高めるために足趾先端まですべて貼付する。また前足部足底の中では比較的免荷が得られにくい部位のため、下腿まで覆う治療用装具の併用も考慮する。

足の特徴

- ・内反足 ・凹足 ・足関節背屈可動域制限

第5中足骨基部

免荷難易度 ●●



貼付領域
免荷領域

遠位端：趾溝のラインまでとし足趾には貼付しない
近位端：踵まで貼付する
潰瘍部位+5mmの領域をくり抜く

ポイント

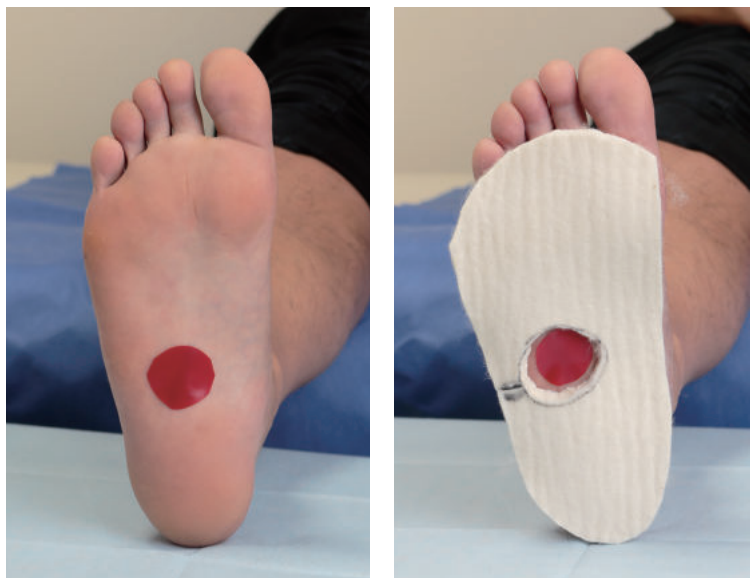
- ・下腿まで覆う治療用装具の併用を考慮する。
- ・Plantigrade (足裏全体を接地して歩くこと) 不可能症例の場合、フェルトでは免荷効果が得られにくい。

足の特徴

- ・内反足

中足部

免荷難易度 ●●●



貼付領域 遠位端：趾溝のラインまでとし足趾には貼付しない 近位端：踵まで貼付する
免荷領域 潰瘍部位+5mmの領域をくり抜く(短い側面に切り込みを入れると加工しやすい)

ポイント

- 急性期のシャルコー関節症の場合は荷重が禁忌となるため、フェルト免荷の適応外とする。
- 下腿まで覆う治療用装具の併用を考慮する。
- Plantigrade (足裏全体を接地して歩くこと) 不可能症例の場合、フェルトでは免荷効果が得られにくい。

足の特徴

- 足部シャルコー関節症 ・ 重度の扁平足

踵部

免荷難易度 ●●●

①潰瘍部のみを免荷する場合



貼付領域 遠位端：趾溝のラインまでとし足趾には貼付しない 近位端：踵まで貼付する
免荷領域 潰瘍部位+5mmの領域をくり抜く(短い側面に切り込みを入れると加工しやすい)

②踵部全体を免荷する場合



貼付領域 遠位端：趾溝のラインまでとし足趾には貼付しない 近位端：免荷領域に従う
免荷領域 潰瘍部位+5mmの領域を含めて踵部をすべてくり抜く

ポイント

- 下腿まで覆う治療用装具の併用を考慮する。
- 踵足およびPlantigrade (足裏全体を接地して歩くこと) 不可能症例の場合、フェルトでは免荷効果が得られにくい。

足の特徴

- 踵足 ・ 凹足 ・ 足部シャルコー関節症